

助宗古窯群清水下地区 人形土製品

令和8年

1/9 金 ~ 2/15



寺家前遺跡 大型建物跡

藤枝
里帰り展

日

発掘された静岡

地中に眠っていたお宝や、ふるさとの歴史秘話を再発見！



藤枝市郷土博物館・
文学館



□ 開館時間／午前9時～午後5時
□ 入館料／高校生以上200円
(中学生以下無料、障がい者手帳等をご提示の方無料)
□ 休館日／月曜日(1/12は開館、翌日休館)
〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500(蓮華寺池公園内)
TEL 054-645-1100 FAX 054-644-8514
Email : muse@city.fujieda.shizuoka.jp

地中に眠っている遺跡は、発掘調査によって見つかる建物跡や出土品などから、さまざまな地域の歴史を明らかにしてくれます。新東名高速道路の建設に関わる発掘調査では、これまで知られていなかった数々の遺跡が新発見されました。古墳や、土器を焼いた窯跡、集落跡など発掘調査の資料は、静岡県埋蔵文化財センターで収蔵されており、市内で展示する機会がないことから、このたび里帰り展として地域ゆかりの出土品を一堂に公開します。併せて助宗吉窯群など市内及び県内の発掘調査の成果から、近年注目されたものや、出土品の中から逸品を特別公開します。

市内最古の窯跡



衣原1号窯 古墳時代後期に土器を焼いた

新発見の古墳



花倉大柳古墳 市内最古級

鎌倉時代 まぼろしの領主



寺家前遺跡 花押のような墨書きがある土器

しづおか発掘 逸品を特別公開!



衣原11号墳 豊富な副葬品



弥生土器 多口壺（静岡市長崎遺跡）

関連イベント

■ ところ 文学館 講座学習室 ■ 要事前申込（電話・FAX・Eメールで郷土博物館まで）

考古学講座① 発掘された寺家前遺跡～葉梨地域の歴史新発見！～

令和8年1月18日（日）午後2時～午後3時30分

講 師 中川 律子さん（静岡県埋蔵文化財センター 調査課）

市内中ノ合で、新東名高速道路の建設に関わる発掘調査で新発見された寺家前遺跡では、古墳時代から鎌倉時代にかけて、さまざまな時代の建物跡などが見つかりました。葉梨地域の歴史を明らかにする遺跡発見の感動や、興味深い出土品について紹介します。

考古学講座② 古代のやきものと技術～志太地域における始まりと広がり～

令和8年2月8日（日）午後2時～午後3時30分

講 師 鈴木 敏則さん（元浜松市博物館館長、（社）浜松市史蹟顕彰会専門委員・理事）

国史跡「志太郡衙跡」でも使われていた奈良時代の土器は、市内助宗に築かれた窯で焼かれています。近年、市内入野や助宗などで窯跡の遺跡が発掘調査され、志太地域における古代の土器生産の様子が少しづつ解明され始めています。古代の土器づくりには、どのような技術や背景があるのか、興味深い古代史を紹介します。

● 参加料：入館料として高校生以上200円（中学生以下無料） ● 定員：90人（要事前申込）

考古学ワークショップ 古代の鏡をつくろう

令和8年2月1日（日）

①午前10時～12時

②午後1時30分～3時30分

古代の鏡「花枝双蝶八花鏡（かしそうちょうはちかきょう）」（市指定文化財）をかたどって、複製品をチョコレートで製作します。



持ち物

- 耐熱ポウル 2個（径15～20cm程度）
- 調理用ヘラ
- 車手

※径約10cm

- 参加料：500円（小学生以下は大人同伴）
- 定員：各回10人（要事前申込）

静岡県埋蔵文化財センター

静岡県には、先人の生活が刻まれた約9,000箇所の遺跡が残されており、県民共有の文化遺産として、将来に引き継いでいくことが求められています。国や県が行う公共工事に関連する遺跡の発掘調査を行うため、県は昭和59年（1984）に財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所を設立し、平成23年（2011）4月には、その機能を引継ぐ形で静岡県埋蔵文化財センターを設置しました。

国民共有の財産である埋蔵文化財の保護【守る】、地域固有の文化に対する誇りと愛着の醸成【育てる】、文化財の価値の未来への継承【つなげる】の実現をめざし、日々、埋蔵文化財の調査研究、活用、修復・保管に取り組んでいます。



〒421-3203 静岡市清水区蒲原5300-5